

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岩手県・洋野町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	洋野文化遺産総合活用推進事業		
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
<p>事業計画3年目の平成30年度に行う「観光ボランティアガイド養成」に向け、域内の歴史文化観光資源専用のWeb発信用ホームページを作成する。平成28年度事業で蓄積された文化遺産情報7,000件に加え、同事業推進中に新たに発見された約2万点の資料のうち、5,000点を収集並びにデジタル化し、既存と合わせ12,000件の洋野町文化遺産情報発信を実現し、地域の活性化に向け貢献する。</p>			
6 実施体制			
<p>洋野町が本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>担当課 洋野町教育委員会生涯学習課町史編さん室（担当：主任 木村智暁） 洋野文化遺産活用地域活性化実行委員会（会長：東大野 一男） 構成団体（洋野町、洋野文化遺産活用地域活性化実行委員会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 5,154 千円	平成29年度申請額： 2,493 千円
(2) 実施事業の概要		<p>◆情報基盤メニュー改修平成30年度人材育成事業で実施する「観光ボランティア養成事業」に備え、以下の歴史文化観光資源専用のホームページを作成する。「鳴雷神社例大祭」、「ナニャドヤラ」、「おのおの駒踊り」、「奉納神楽」などの新規情報を収録する。 コンテンツは本事業の「記録作成事業」にて実施し、それを元に効果的なメニューページを専門のシステム業者と打ち合わせ、委託をもって作成する。</p> <p>◆江戸時代から約150年間、祭礼行事として執行されてきた「鳴雷神社例大祭」に関連する資料を収集し、広くWebで発信するため文化遺産情報基盤システムに登録するデジタル記録作成作業を実施する。祭礼行事としての例大祭が、現在の様式に変化したのは明治時代以降となる。 各種の地域伝統芸能も加わり、洋野町における夏祭りの観光行事として定着もしている。過去の記録を町民・関連団体より収集し、Web配信の使用許諾を得ると共に適切な個人情報保護処理を行い、整理・分類の上解説を付与したデジタルコンテンツとして作成する。 なお、作成したコンテンツは、後年度計画する「観光ガイド養成」で使用する講座用テキストの素材としても応用する。また、地域の伝統芸能の記録については、例大祭にて練り歩く様子のほか、「北奥羽ナニャドヤラ」大会など公的な講演の様子を交えた過去記録の収集をメインとし、今年度では別途の上演収録は実施しない。</p>	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域固有の伝統ある祭礼行事が、整理された情報発信を行うことにより、一層の理解と関心を得ることができる。 ・当該資料のHP掲載により、観光資源としてより多くの観光客を地域に迎える一助となり活性化につなげられる。 ・収蔵庫に保管されていた多くの資料、域内にある歴史的な古文書が身近に情報検索し、閲覧できることにより文化遺産への理解を深める。 ・専門家による注釈、解釈を加えて情報提供されることで、歴史や文化への理解を一層深めることができる。 ・後年予定事業である「観光ボランティア養成事業」実施に向けて、地域の文化遺産を体系的に整理し有効活用する土台となる。 			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	特になし		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
特になし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	洋野町教育委員会生涯学習課 町史編さん室		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流						
評価指標区分 1 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)						
具体的な指標 1 :	ホームページ閲覧数 (PV数)			関連事業:	①、②		
目標値 1 :	平成 29 年度		3,000 PV	⇒	平成 30 年度		10,000 PV
設定根拠 1 :	本年度で収録した情報を、平成28年度に整備した文化遺産情報基盤システムに格納し、いつでも検索閲覧利用できるようにする。ホームページの閲覧数 (PV数) を増やすことによって、洋野町の歴史と文化に触れ、町に興味を抱かせるツールとするため。						
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 年度	平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度		
PV	PV	3,000 PV	PV	PV	PV	PV	
		0%					
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流						
評価指標区分 2 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)						
具体的な指標 2 :	「鳴雷神社例大祭」「北奥羽ナニヤドヤラ大会」に参集する観光客を対前年比10%増を目標とする。			関連事業:	①、②		
目標値 2 :	平成 29 年度		約8,500 名	⇒	平成 30 年度		約9,400 名
設定根拠 2 :	ホームページに格納した情報を発信することで、平成30年度に予定する「観光ボランティアガイド養成事業」でも歴史文化観光デジタル資源として活用し、広く町外からの観光参集者を呼び地域活性化の一助につなげる。						
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 年度	平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度		
名	名	名	名	名	名	名	

様式1-1別紙②

8(2) 実施事業の概要 別紙

事業①:	情報発信事業	実施団体:	洋野文化遺産活用地域活性化実行委員会			
事業区分:	情報発信	事業期間:	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度			
事業概要:	◆情報基盤メニュー改修平成30年度人材育成事業で実施する「観光ボランティア養成事業」に備え、以下の歴史文化観光資源専用のホームページを作成する。「鳴雷神社例大祭」、「ナニャドヤラ」、「おおの駒踊り」、「奉納神楽」、などの新規情報。コンテンツは本事業の「記録作成事業」にて実施し、それを元に効果的なメニューページを専門のシステム業者と打ち合わせ、委託をもって作成する。					
評価指標区分:	・ホームページ閲覧数(PV数)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	インターネットアクセス数10,000件超を見込む					
目標値:	平成 29 年度	3,000 PV	⇒	平成 30 年度	10,000 PV	
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
PV	PV	3,000 PV	PV	PV	PV	
事業②:	記録作成事業	実施団体:	洋野文化遺産活用地域活性化実行委員会			
事業区分:	記録作成	事業期間:	平成 28 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要:	江戸時代から約150年間、祭礼行事として執行されてきた「鳴雷神在例大祭」に関連する資料を収集し、広くWebで発信するため文化遺産情報基盤システムに登録するデジタル記録作成作業を実施する。祭礼行事としての例大祭が、現在の様式に変化したのは明治時代以降となる。各種の地域伝統芸能も加わり、洋野町における夏祭りの観光行事として定着もしている。過去の記録を町民・関連団体より収集し、Web配信の使用許諾を得ると共に適切な個人情報保護処理を行い、整理・分類の上解説を付与したデジタルコンテンツとして作成する。なお、作成したコンテンツは、後年度計画する「観光ガイド養成」で使用する講座用テキストの素材としても応用する。なお、地域の伝統芸能の記録については、例大祭にて練り歩く様子のほか、「北奥羽ナニャドヤラ」大会など公的な講演の様子を交えた過去記録の収集をメインとし、今年度では別途の上演記録は実施しない					
評価指標区分:	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	あわせて、「鳴雷神社例大祭」と「北奥羽ナニャドヤラ大会」に参集する観光客を対前年比10%増を目標とする(平成29年度2月に公開後、平成30年度の参集者にて計測)。					
目標値:	平成 29 年度	約8,500 名	⇒	平成 30 年度	約9,400 名	
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
名	名	名	名	名	名	